



日高ロータリークラブ WEEKLY

2025-2026 R. I テーマ
よいことのために手を取り合おう

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	小坂雅彦	幹事	町田秀雄	会報委員長 犬竹一浩

第1934回例会 2025年8月19日(火)

2025年9月2日発行 第1724号

本日のお客様 高橋和男様(第3グループガバナー補佐 所沢西 RC)

会長の時間 小坂雅彦会長

本日は『ガバナー補佐訪問』でございます。高橋和男ガバナー補佐様に於かれましては、お暑い中早々に御来訪下さいまして帳票チェックを済ませて頂きました。ありがとうございました。またクラブ協議会に於いて、改めて御指導を賜りたいとおもいます。本日は、8月が『会員増強月間』ということもありますので、ガバナー月信より、坂口孝ガバナーの御挨拶文を御紹介させていただきます。

～会員増強について～

会員増強はロータリーの大きな課題であり、各クラブが取り組まなければならないミッションです。ロータリーに必要なのは、活動に積極的に参加する会員、そして、成長の機会を見出して行動を起こすことのできるリーダーです。会員基盤がしっかりとしていれば、奉仕活動の可能性も広がります。そのために会員増強が必要となるのです。会員増強の手法は各クラブによって異なります。クラブの特性、地域性、最近の傾向や変化を認識し、それに沿った行動計画を立て、会員増強に取り組んでください。“良いことのために手を取りあおう”、このメッセージのように他団体とも手を取りあえば、ロータリーは会員増強だけではなく、多くの恩恵を受けることができます。

以上のメッセージと共に『会員増強のための行動のヒント』も掲げていらっしゃいます。

1. クラブの魅力を明確に伝える
社会的意義だけでなく、ネットワーク、スキルアップ、リーダーシップなど、若者が求める価値に焦点を当てる広報。
2. 会員募集のための工夫
地域と連携した奉仕活動で地域のプロフェッショナルやリーダーとの関係性を高める。
3. 多様性、柔軟性の確保
業種、年齢、性別の多様性を意識した会員増強戦略
4. 継続的なフォローと関係構築
「入会してよかったこと」「成長したこと」を語る場を作る。

もし貴クラブの具体的な課題や地域特性があれば、地区は喜んで課題解決のお手伝いをします。

～会員増強は未来への鍵～ 会員増強委員会委員長 山田哲也様より

8月は会員増強月間です。毎年、各クラブ必死に会員増強を頑張っていると思います。しかし、ロータリー全体の会員の推移を見ますと残念ながら減少傾向にあります。ここ数年もこのような状況は変わりません。現在の世界情勢を考えるといたしかたないことだと思います。しかし、今の混沌とした世の中だからこそロータリークラブの存在や意義を人々に周知する絶好のタイミングなのではないでしょうか…。

委員長の御言葉に「ロータリークラブの存在や意義」とございます。私自身は、職業奉仕、社会奉仕、親睦活動等の基本理念を大切にすることが『存在意義』に繋がると考えております。クラブが結束し、皆仲良く同じ目標に向かう姿を見せることが、自然と会員増強に繋がるのかもしれない。



幹事報告 町田秀雄幹事

地区事務所より

・8月のRIレート \$1 = ¥149

クラブ協議会

第3 グループガバナー補佐 高橋和男様(所沢西 RC)

このたび、2025-26 年度第3 グループガバナー補佐を拝命いたしました所沢西ロータリークラブの高橋和男です。1961年2月14日生まれの64歳になります。生まれも育ちも入間郡三芳町で中学は柔道部、高校は吹奏楽部で大学では自動車部でした。現在は一般貨物自動車運送事業・一般旅客自動車運送事業・旅行業などを営んでおります。所沢西ロータリークラブに2009年に入会し今年で16年目となります。ロータリーの魅力も厳しさも、やっと感じられるような時期になりました。本日はガバナー補佐の役割、および坂口ガバナーの方針と、その実現への助言を説明し、ロータリアンとは何かを卓話させていただきます。よろしくお願いします。



～ガバナーとガバナー補佐の役割～

ガバナーは国際ロータリーや地区の方針を示し、全体の調和と方向性を導く存在です。云わば舵取り役です。一方で、補佐はクラブ1つ1つと向き合いながら活動をサポートする伴走者であると思っております。どのクラブにも歴史があり、雰囲気があり、悩みがあります。一律に指導するのではなく、寄り添い、励まし、時には黙って見守ることも補佐の役割だと思っております。今年度の坂口ガバナーは、強いクラブを作るという明確なテーマを掲げています。ここで大切な視点があります。それはクラブが主体であるという考え方です。私もこの考え方には非常に共感しております。

強いクラブとは単に会員数が多いクラブではなく①目的意識のあるクラブ・クラブの理念や方針が明確であり、会員がそれぞれそれを共有し実践している。ロータリーの4つのテストや、奉仕の理念が日々の活動に反映されている。②会員のベクトルが揃ったクラブ、それぞれの思いや意見を尊重しながら、クラブ全体として同じベクトルに向かっていく。会長役員がリーダーシップを発揮し、共通の目標に向けた意識の統一が図られている。活動が活発で地域に貢献するクラブ地域社会の課題に積極的に関与し、奉仕活動を継続的に実施している。クラブの取り組みが地域から評価され、このクラブがあるから地域が良くなると認識される存在である。④未来を見据えたクラブ次世代のリーダーを育成し、継続的な発展を図っている。若手会員や新入会員が定着し、ロータリーの価値を学びながら成長できる環境が整っている。世代を超えた交流が活発で、全員が意見を言いやすい雰囲気がある。

～ローターにとっての活性化とは～

クラブの存在意義を高め、会員がより積極的に参加し、意義ある活動を展開できる状態を指します。単に会員数を増やすだけでなく、クラブの魅力を高め持続可能な成長を促すことが重要です。その活性化を実現する為には会長のリーダーシップが不可欠です。

～ロータリーに細かいルールがある理由～

会員皆様に於かれましては、少し堅苦しすぎると感じる事もあるのではないのでしょうか。私なりにその理由をこう考えております。ロータリーが単なる仲良しクラブではないからこそルールがある。社会的に信頼され、公益性を持つ団体として透明性や継続性を保つ。其れには一定の規律が必要なのであります。ここが大切なポイントです。ルールを守ること自体が目的にはなっていけません。ルールはあくまでも道しるべです。それを守ることによって皆が安心して活動でき、意思の疎通がスムーズになる。人としての品格を損なってまで、杓子定規に運用するものではないと思っています。会員1人1人が誠実で温かく謙虚であれば、地域の人から自然と信頼され「私もあのクラブに入りたい」と思ってもらえるようになります。では品格とは何でしょうか。それは、その人の持つ人格的な上質さや、内面からにじみ出る立ち振る舞いの美しさ、気品を指します。特に日本文化や歴史への理解格を育てると捉えています。

～ロータリーは学びの場～

ロータリーは私にとって人生の後半に出会った最高の学校です。普通の学校と違って、ここには先生もいませんし、テキストもテストもありません。自分で課題を見つけ、自分で考え、自分で成長していく場所で正解は1つではありません。他のクラブの成功事例を真似ても上手くいかない事もあります。大事なことは、自分達らしさを大切にしながら続ける姿勢だと思えます。坂口ガバナーがよく言われるのは、まず行動すること。やる前から無理だ、難しいと思うのではなく、どうしたら出来るのかを考える。小さな行動がクラブを元気にして仲間を動かします。真剣な姿は人を動かし連鎖を生みます。それこそが強いクラブを作る力になると私は信じております。

出席報告	8月19日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	7/29 修正率
	夜間	22	15	2	7	70%	55%

ニコニコボックス報告

15名 合計金額 15,000円 累計金額 105,000円